

せいらんそう

社会福祉法人
芳香会誌
第 1 2 号
2010年10月発行



落のとう舎『農芸班の野菜栽培・販売』

太陽の光をたくさん浴びたおいしいキュウリやナスが収穫できました。

も く じ

CONTENTS

法人設立40周年記念行事
記念講演会 . . . 2

新規在宅事業開始にむけて
上大野在宅ステーション . 3
一時預かり事業
& 事業所内保育施設 . . 3

児童福祉施設トピックス
たま保育園 4
牛ヶ谷保育園 4

長かったそれぞれの夏
ホテル祭りへの参加 . . 5
夏祭りへのご招待 . . 5
エコ活動への取り組み . . 5

芳香会活動報告 6
芳香会スケジュール . . . 6
編集後記 6



法人設立四十周年 記念行事



会報十一号でも特集しました通り、私も芳香会は平成二十二年度をもって、法人設立四十周年を迎えることが出来ました。

四十周年を記念する事業として「記念講演会」「実務研究発表会」「記念チャリティコンサート」の三つの行事を企画・開催してまいります。

四十周年記念講演会

去る八月二十九日(日)に、第一弾の記念行事として四十周年記念講演会を開催いたしました。今回の記念講演会では、障害者分野を中心とした、障害者への理解・親しみを深めてもらうための障害者施設利用者によるバンド演奏と、障害者福祉分野について共に学ぶ記念講演の二本立てでお送りしました。

開催当日は、三十五度を越える厳しい残暑の中、百八十名を越える方々に参加いただきました。誠にありがとうございました。

バンド演奏 バンド“カムカム”

バンド演奏を披露いただいたのは、社会福祉法人常陸青山会 障害者支援施設光風荘の利用者たちです。九名のメンバーでバンド“カムカム”を結成し、視覚障害というハンデを乗り越



え、爽やかな音楽と感動を届けて下さいました。障害の有無を感じさせない、そして自分たち自身も楽しんでいる演奏に、参加者の間からは自然と手拍子が始まり、澄んだ歌声と曲のイメージが重なり涙ぐむ方もいらっしたようです。

記念講演 大山泰弘氏

日本理化学工業株式会社 大山泰弘会長よりご講演を頂きました。日本でいちばん大切にしたい会社という本やテレビ番組等でも紹介されており、「知的障害者を雇用し、働くことの幸せを社員に提供し、そしてダストレスチヨークやキットパス等の価値ある商品を世に提供している企業」です。

講演では、「きちんとした仕組みがあればどんな人でも世の中の役に立つ仕事ができる」、「社会に貢献する事が働く喜びになっていく」といった沢山の大切な信念を学ばせていただきました。



記念講演会の開催にあたって、多くの関係各所の方々からお祝い金や生花を頂戴致しました。皆様の暖かいご支援・ご配慮に心から感謝申し上げます。

日本理化学工業(株)川崎工場を 見学してきました

九月七・八日に、芳香会の雇用障害者の皆様と研修旅行の一環として、日本理化学工業(株)の見学に行ってきました。参加者を代表して、二名の方に感想を伺いました。



【つくし園勤務 Tさん】
今までは、仕事をしていても集中力が欠けていましたが、研修先の方々の仕事ぶりを見て、挨拶もしっかりしているのでまずは大きな声で挨拶をし、掃除もしっかりするという目標を立てて、今後取り組んでいこうと思えました。

【落のとう舎勤務 Yさん】
わからない部分があった際は、職員に聞くなどしてそのままの状態にせず、報告・連絡・相談を徹底し、仕事に取り組みたいと思えました。

四十周年記念 今後の二つの企画

第二弾 実務研究発表会

節目の年での発表会で、他法人の発表を拝聴し、共に今後の業務に役立てていきます。十一月十九日(金)、ネーブルパーク平成館にて開催。外部法人も研究発表予定。

第三弾 記念チャリティコンサート

これまでお世話になった方々に感謝の意を込め、楽しいひと時を過ごしていただきます。十二月二十七日(月)、ホテル山水にて開催。埼玉オペラ協会所属 小林麻裕弥様のコンサートと昼食会をお楽しみいただけます。

新規在宅事業開始にむけて

もったいないを形に

障害児者の拠点

青嵐荘上大野在宅ステーション(仮称)

現在、芳香会では、古河市上大野にある旧赤羽医院を改修し、三つの障害福祉サービス事業等を準備しています。地域の障害者及びご家族の支援並びに障害を持つ方の地域生活を送るための生活拠点を整備しています。

【実施事業】

一・日中一時支援事業 定員十五名

特別支援学校の放課後と長期休暇時を中心に受入を行う事で、ご家族が安心して仕事ができるよう支援を行います。

二・共同生活介護(ケアホーム) 定員五名

知的障害者の共同生活介護は、現在古河市(人口十四万四千人)において、同法人内の「芳香のいえ」一ヶ所のみとなっています。

今後、増大する利用希望者や地域生活への移行希望者の受け皿となるよう整備します。

三・相談事業・研究所

障害児者の総合相談窓口として、様々な相談にワンストップで対応できるようにします。

【実施予定相談事業】

地域療育等支援事業(芳香会病院青嵐荘療育園)

相談支援事業(青嵐荘つくし園)

これらの相談事業を出張形式で配置する事により、迅速な対応ができるよう努めます。

また、研究所を配置することで、地域の実情を把握し、実態に基づく必要なサービスの創設を目指します。

【バックアップ施設】

法人内の障害児施設四施設が、それぞれの特徴を生かしバックアップを行います。

| 施設名 | 施設種別 | 主たる対象 |
|-----------------|-----------|---------|
| 青嵐荘療護園 | 障害者支援施設 | 身体障害者 |
| 芳香会病院 青嵐荘療育園 | 重症心身障害児施設 | 重症心身障害児 |
| 青嵐荘路のとう舎 | 障害者支援施設 | 知的障害者 |
| 青嵐荘つくし園 | 障害者支援施設 | 身体障害者 |

【今後の予定】

二十二年十月 受付開始

*ご注意 ご利用の決定は、お申込み先着順ではありません。

十二月 改修工事開始

二十三年三月 内覧会

四月 オープン

地域の社会資源(旧赤羽医院)を再活用し、少しでも地域の障害児者及びご家族のお力になれるよう、形にしていければと思います。



問合せ先

青嵐荘療護園 木立(きだち)

電話 〇二八〇 九八 二七八一

一時預かり事業たま保育園・牛ヶ谷保育園 &事業所内保育施設(ひばり・ツグミ)

芳香会では、たま保育園・牛ヶ谷保育園の二つの保育園を開設しております。その中で、在宅でお子さんを育てている方への支援の一つとして、一時預かり事業を行っております。

ご家族や保護者のご病気や、あるいはお子様連れでは難しい用事足し、また、働きたいけど保育所へ預ける事が不安な方のお試し保育など、様々な形で地域の方々にご利用いただいております。この為、ご利用者の殆どが、〇〜二歳児であり、その中でも〇歳児は約四十パーセントを占めています。一時預かり保育のご利用者から正規入所をして頂く方も多く、二保育園では四割を超えています。

また、ひばり・ツグミの二つの事業所内保育施設でも、主に〇〜二歳の預かりを行っており、働くお母さんを支援しています。

今後も、安心してご利用頂けるよう努力してまいります。

平成21年度利用者状況

一時預かり事業・事業所内保育施設の利用延べ人数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| たま保育園 | 22 | 26 | 23 | 21 | 19 | 30 | 33 | 35 | 34 | 18 | 33 | 30 | 324 |
| 牛ヶ谷保育園 | 21 | 21 | 28 | 35 | 16 | 24 | 36 | 36 | 29 | 25 | 27 | 48 | 346 |
| 上大野地区:ひばり | 18 | 15 | 15 | 15 | 16 | 13 | 13 | 14 | 17 | 15 | 13 | 15 | 179 |
| 結城尾崎地区:ツグミ | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 2 | 2 | 3 | 8 |

ツグミはH21.12月に開所

児童福祉施設トピックス

【たま保育園】

みんなで一緒に楽しいお泊り保育！



夕食「バーベキュー広場」にて

ネーブルパーク・平成館

さる八月六〜七日（金・土）五歳児を対象にネーブルパーク&平成館での一泊宿泊体験を実施しました。さすが子どもたちに大人気の遊びの宝庫と静かな宿泊環境で、皆、大満足のようでした。当日は日中からかなりの気温上昇、それでも元気な子どもたち、企画した保育士も楽しい二日間で胸をなでおろすことができました。参加した子どもたちの感想は、

- A ジャブジャブ池で遊んだのが楽しかった。
- B アスレチック、もつとやりたかった！
- C みんなでお風呂に入ったのが楽しかった。
- D 朝ごはん、沢山あって（種類が）ゼーんぶ食べたかったけど、残しちゃった。
- E みんなでお布団の上で芋虫みたいにゴロゴロ転がったのが楽しかった。

また来年も楽しい思い出作りに汗を流しましょう。



平成館前にて朝の体操

【牛ヶ谷保育園】

職場体験学習

今年も六月に学生さんが職場体験の為訪れました。総和北中学校の女の子三人です。

オリエンテーションで来園した時にびっくりしたのですが、その内二人は当園の卒園児だったのです。園長先生を見つけて、「あっ、園長先生だ」と照れくさそうであり、懐かしく思えたそんな瞬間だったのではないのでしょうか。

実際に保育現場に入り、子ども達へのかかわり方に戸惑いや緊張を感じたようでしたが、時間が経つにつれ、元氣な子ども達からパワーを貰ったかのように、笑顔で「楽しいです」と積極的に子ども達と一緒に遊ぶ姿が見られ、初めての絵本の読み聞かせにも挑戦していました。

三日間の体験後の感想を聞いてみると「保育士は子どもと遊んでいるだけでなく、園児の為に沢山の仕事があることを知り、勉強になりました」という声が多く、最終日には「子ども達と離れるのがさみしいです」という生徒さんもありました。短い時間でしたが、保育士の仕事内容を知っていただけたと思います。

今回の職場体験では、保育士を将来の仕事として夢見る学生さんがいましたが、私たちはいつでもこの仕事に誇りと責任を持ち、次世代を担う子どもたちの為に貢献していかねければ、と再認識できた時間でもありました。



【たま保育園・牛ヶ谷保育園】

夏休み 保育の学生ボランティア

今年度二保育園共同で、地元短大・大学等を対象としボランティアを募りました。その結果、牛ヶ谷保育園では十二名、たま保育園では六名の短大の学生が体験をしてくださいました。

現在保育園では、低年齢乳幼児及び、長時間預かる子ども増加傾向が数年続いています。今回は、未来の保育士を目指す学生さんと出会い、より良い保育の現場となるようにと考える仲間作りを目的としました。

ここでは、たま保育園に三日間の体験をしてくれた学生の記録を抽出しました。

『二日間のボランティアの中で特に、先生方の子どもたちへの対応が勉強になりました。おともだちとケンカをして泣いてしまったり、出来ない事があって泣いてしまったり、自分のペースを持っている子など色々な子がいる中で、どの子に対しても慌てず優しく接していて、その後の子どもたちのスッキリした表情が印象に残っています。』

また、これから自分が経験するであろう事を優しく丁寧に教えていただいたことに感謝しています。有難うございました。』



長かったそれぞれの夏

ホタル祭りへの参加 (つづくし 園)

ホタル祭りは、ホタルを育て、ホタルの里を守りながら、子どもたちに夢を与えたいという願いから設立された「ネーブルパーク・ホタルの里友の会」により主催され、今年で七回目を迎えるイベントです。



ホタル祭りに、つくし太鼓『和音』が今回初めて参加し、ネーブルパークにおいて和太鼓を演奏しました。「参加できなかった利用者にも季節を感じてもらいたい」との主催者の「ご好意により、スズムシを頂きました。利用者もまさか施設においてスズムシの鳴き声が聞けるとは思っていなかったようで、その音色に耳を傾け、夏の暑さを忘れていたように思いました。」



平成十九年度より地域デビューしたつくし太鼓『和音』は、ホタル祭りをはじめ、様々な地域行事に声をかけて頂けるようになり、イベントで演奏させて頂くと、観客から暖かい声援や手拍子を頂けるようになってきました。今後も演奏のレパートリーを増やし、演奏の場、地域の方々との交流の場を広げていきたいと思います。



夏祭りへのご招待 (たま保育園/養護・特養)

地域交流の一環として、各事業所の夏祭りに地域の外部団体の皆様にご参加頂きました。

【たま保育園】

七月十七日に実施した夏祭りに「古河市和太鼓保存会」を招待しました。この団体は、小学生から大人まで約三十名の幅広い年齢層で構成されています。



演奏を終え、団体の方からは、「子どもたちが集中して聴いてくれ演奏しやすかったです」とのお話があり、園児・保護者からは、「かつこよかった。夏祭りが盛り上がった」との好評の意見を頂きました。来年以降も引き続き関わりを継続していきたいと思えます。

【結城地区合同夏祭り(養護・特養)】

養護・特養の合同夏

祭りを七月三十一日に開催し、地域の皆様に来荘頂きました。「三和芸能保存会」の方々にはお雛子を演奏頂き、「美津江会」の方々には、利用者の方々とともに日光和楽などの盆踊りでも楽しく踊って頂きました。



地域との関係を深めるため、毎年招待している団体の他、多くの皆様にご参加頂けるよう、今後も働きかけていきたいと考えております。

エコ活動への取り組み (グリーンカーテンコンテスト)

「地球にやさしく」を目標としている芳香会では、これまで空き缶やキャップのリサイクルなどエコロジー活動に積極的に取り組んできました。今回、更なる活動の推進を目指し、各事業所で実施している「グリーンカーテン」のコンテストを開催しました。



コンテストの結果、最優秀賞が「療護園」、優秀賞が「ケア・アシスタンス」となりました。エネルギー節約の効果の他、視覚的な「癒し」によるリラクゼーションなど、データで測れない効果もあつたようです。今回、未実施の事業所もあり、今後は全事業所で取り組み、少しでも地球環境保護に貢献できればと考えております。

なお、最優秀賞・優秀賞を獲得した二施設には、来年度も立派なグリーンカーテンの環境を継続してもらえるよう「アサガオ、ヘチマ、ゴーヤ」の種を配布致します。



【最優秀賞】
青嵐荘療護園
園芸クラブ活動の一つとして実施。



【優秀賞】
青嵐荘ケア・アシスタンス
涼やかで利用者のリハビリに励みになっている。



芳香会活動報告

有機・無農薬野菜販売 はじめました



今年度七月より芳香会の二事業所において、野菜販売を始めました。

路のとう舎では、日中活動班の一つである「農芸班」の利用者八名と担当職員が中心になって栽培したキュウリやナス・ゴーヤ等を、ケア・アシスタンスの玄関にて販売しております。

また、養護老人ホームでは、余暇活動の一環として「菜園クラブ」の利用者六名が栽培したジャガイモ・ミニトマト・トウモロコシ等を、隣接する特別養護老人ホームの玄関で販売しております。

主な購入者は面会のご家族や職員ですが、毎日多くの方にご購入頂き、「安くて新鮮」「おいしかったのでまた買いたい」等の声を頂いています。なお、売上金の一部で、作業服や軍手を購入したり、秋冬野菜の種苗代とする他、「宮崎県口蹄疫被害義援金」に寄付しております。

これから秋・冬に向け、サツマイモや大根・ホウレン草等を栽培していく予定です。また玄関前での無人販売のほか、週二回程度昼休憩時に、有人販売を行なう予定です。事業所に来られた際は、是非お立ち寄りください。



ペットボトルの回収 はじめました

空き缶、エコキャップ、紙資源と行ってきたリサイクル活動ですが、平成二十二年十月期から新たに「ペットボトル本体」の回収も行っています。

近年、流通量の著しい増加傾向を感じています。近隣商店や㈱ジャパンビバレッジのご協力の下、芳香会で回収したエコキャップだけで累計四十万個を越え、膨大な数の消費が伺えます。そこで今まではキャップのみ回収を行っていましたが、本体もリサイクルすることで、更なる発展を目指してまいります。



養護老人ホーム：ペットボトル回収場所

芳香会のエコ活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

リサイクル原料から綿を生産している会社です。

芳香会スケジュール

- 十月 下旬 法人内ヒアリング
- 十一月 六日 理事・評議員会
- 十二月 十五日 中途採用職員研修会
於茨城県西自動車学校
- 十二月 中旬 第三者委員会
資格取得報奨金授与式
内定者親睦会

編集後記

長かった夏も終わりを告げ、虫の音が心地よく聞こえる季節になりました。九月十一日、村木元厚生労働省局長が「無罪判決」となり、報道による穏やかな表情と元の職場に復帰を希望していることには本当の真の強さを垣間見ました。(光)

一昨年に続き、福利厚生お楽しみくじで「デイズニーチケット」に当選しました。最近も懸賞で水族館や美術館の入場券が当たり家族で喜んでいきます。「人間万事塞翁が馬」と言いますが、次は他の車に当たらぬよう運転に気をつけます。(浩)

今夏の猛暑で母が家の中の熱中症になりました。冷房も節約し、スポーツ飲料など馴染みのない年代。気遣い不足に反省。グリーンカーテンならず、簾を付けました。今は過ごし暑い季節になりほっとしています。(房)

社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp



写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。